

コミュニティ くわつさつ

My home town story

大路

2021.DEC
129号 12

[編集発行]

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

[作成協力]

大路区まちづくり協議会

多くの住民さんが見守る中、神楽が奉納され、きつねの面を着けた神官から地元ゆかりの食材をお供えされました。そして「コノコ・ンチキチン・コンチキチン」のお囃子とともに、ユニークなしぐさで太鼓の周りを踊るきつねたち。久々の姿に神さまも喜ばれています。

コミュニティくわつ 私のホームタウン編 - My home town story - はじまります

いつも「コミュニティくわつ」をご愛読いただきありがとうございます。

ここ草津では14の地域(小学校区)で、その地域ならではの魅力的なまちづくりが今日も展開されています。かねてより「私のまちのことをもっと知りたい。このまちを特集して欲しい」といったご意見をいただいておりました。

こんな嬉しい声にお応えすべく、これまでの通常版(草津市域)に加え、新たに概ね小学校区に焦点をあてた地域

版「私のホームタウン編 -My home town story-」を発行することになりました。地元の地域まちづくり協議会の協力をいただきながら、年1~2回、地域の魅力や深掘り情報をお届けします。通常版ともどもよろしくお願ひします。

まずは本誌編集部を置くキラリ工草津の地元、「大路」からスタートします。次に訪れるのはあなたのまちかもしれません。

FEATURE

大路の「これから」に挑んだ、3人の仕掛け人。

ここに一冊の写真集があります。大路今昔物語。「大路井」と呼ばれていた村が駅の開業など時代と共に変貌を遂げてきた様子を絵や当時の写真でリアルに伝えてくれます。平成28年に大路区まちづくり協議会より発刊された写真集の編さんには深くかかわった中島さん、福井さん、伊勢村さんです。合わせて御年254歳というお三方は生まれも育ちも大路、言わばこのまちの語り部です。でも昔を語るだけではありません。100年ぶりの踊りの復活クリスマスアーツイベント、大路区民まつりと、今を、そしてこれからの大路を見据えた、まちの魅力を創り続ける仕掛け人なのです。

100年の時を超えて。 復活! きつねおどり

一枚の絵馬から



今日も子どもたちが元気いっぱいに通う草津第二小学校。これは昔、世基池という大きな池でした。のんびり釣りを楽しむ姿や「大路井別荘地」といわれた池周辺の写真も残っています。

ここに小学校が開校したのが昭和48年、その初代PTA会長だったのが中島さんです。開校2年目の文化祭では、各家庭に眠っている地元の懐かしい写真を集めて写真展を開催。この時に集まった写真が約50年後の写真集へとつながりました。「変わりゆく駅周辺の記憶を呼び覚ます機会に一度も携わることができ、地元に貢献できてよかつた」と

折しも神社の1140年祭（平成15年）を数年後に控えていた時期。この「きつねおどり」を復活させるべく宮司さんや神社の役員たちとの活動が始まり

中島さん。

ようやく一人、当時90歳のおばあちゃんが答えてくれました。「私が嫁いでできたころは『きつねおどり』というのがあって、豊作の祈りと感謝のため神社に奉納してたんだよ」



大 路

草津駅をはさみ東西に位置し、商店街・大型スーパー・百貨店など多くの商業施設があるなど生活の利便性が高いことから、近年はマンション建設による人口流入が大変進んでいる。

JRが通り、国道1号・サンサン通り・びわ湖通りなど主要幹線が複数縦横断するなど交通の利便性も高い。地域内には天井川で有名な草津川の跡地があり、春には満開の桜を楽しみに、地元の人や近隣の人で賑わう。

※大路区まちづくり協議会HPより抜粋(一部校正)

| | |
|-----------|----------------------|
| ●総人口 | : 12,098人 (137,266人) |
| 0-14歳 | : 1,641人 (20,426人) |
| 15-64歳 | : 8,229人 (86,172人) |
| 65歳以上 | : 2,228人 (30,668人) |
| ●世帯数 | : 5,564戸 (61,426戸) |
| ●65歳以上の割合 | : 18.4% (22.3%) |

※外国人を含めた集計／カッコは草津市全体
草津市HPより(令和3年9月30日時点)

ました。

人を、まちを、つなぐ。クリスマスブーツ

と動き出しました。

近商物産はもとより、西側の店舗や事業所にも協力しても

らり、クリスマスブーツのギャラリーを企画。工作キットでオリ

ジナルブーツを作つてもらい、銀行・ホテル・ショッピングセンター

などで展示、道行く人にお気に入りの作品を投票してもらつコ

ンテストも始めました。「年々、力作が増えていますよ」と福井

さん。

発祥の地

夢を持つことつて、ホント大切なですね。そうそう、夢といえば、ここ大路にはとても夢を感じさせてくれるモノがあります。クリスマスが近づくと、まちのあちこちで見かけるアレ。

そう！クリスマスブーツです。

こうして100年の時を超えて、きつねおどりが復活。無事に

1140年祭で神社に奉納されて以来、毎年の古例祭で踊られています。中島さんは「思いを持続けること。それを人に伝えながら行動すること。そうすればきっと夢は叶うんだよ」と子どもたちに言い続けているのだとか。

今や大路のクリスマスマスといえ、ぱクリスマスブーツ。街角で、店先で、大小さまざまなブーツがまちを彩ります。ホテルや銀行のギャラリーでは、子どもたちがペイントしたカラフルなブーツが並び、あたかも大路のまち全體がクリスマスマスを心待ちにしているようです。

このクリスマスマスブーツイベントの仕掛け人こそ、草津駅西口商店街の会長（当時）だった福井さんです。

そこはかとなく…



福井清さん

伊勢村恭司さん

6ページに続く

◆クリスマスマスブーツギャラリー
(提供:立岡写真館)

せん。様々な文献をあたり、他県で行われる「きつねまつり」などを参考に衣装を揃えました。音律はおばあちゃんのかすかな記憶を基に、また振り付けは地元の踊りの先生にお願いしました。

100年の時を超える

100年の時を超えて、きつねおどりが復活。無事に

1140年祭で神社に奉納されて以来、毎年の古例祭で踊られています。中島さんは「思いを持続けること。それを人に伝えながら行動すること。そうすればきっと夢は叶うんだよ」と子どもたちに言い続けているのだとか。

今や大路のクリスマスマスといえ、ぱクリスマスブーツ。街角で、店先で、大小さまざまなブーツがまちを彩ります。ホテルや銀行のギャラリーでは、子どもたちがペイントしたカラフルなブーツが並び、あたかも大路のまち全體がクリスマスマスを心待ちにしているようです。

このクリスマスマスブーツイベントの仕掛け人こそ、草津駅西口商店街の会長（当時）だった福井さんです。



当時、福井さんは市商店街連盟や商工会議所に入り、日ごろから大路のまちを盛り上げようと取り組んでいましたが、駅の東側に比べて西側が寂しく感じることが気がかりでした。もち

中島孝雄さん



ブーツがないだ縁

知られざる地元の特産をまちの賑わいにつなげ、人と人、まちとまちの交流までつくり出したクリスマスマスブーツ。あのブーツには本当にたくさんの夢が詰まっていたのです。

東日本大震災がきっかけで交流を深めていた伊達市（福島県）の子どもたちにもブーツを届けに行つたことで、遠く伊達市でもクリスマスマスブーツギャラリーが行われるようになりました。これがきっかけとなり、草津市と伊達市の子どもたちの交換留学「みらいKIDSにぎわい交流事業」が始まり、互いの子どもたちの思い出づくりに役買うことになったのです。

大路のパワースポット

静かな森に囲まれた大路のパワースポット
手水(ちょうず)は地下20mから引いた御神水
「こしおい」じゃなくて「おしおい」

2021年オープン、
草津の新しいまちづくり拠点
5階には本誌編集部(事業団)
まちづくりの相談は事業団まで

大路区まちづくり協議会が運営管理する
大路のまちづくり拠点
コロナ禍で食料の無償配布や手づくり
マスクの販売も



ハミングロード

キラリエ草津

大路区まちづくり協議会が運営管理する
大路のまちづくり拠点
コロナ禍で食料の無償配布や手づくり
マスクの販売も

1

大路井別荘地

世基池(現・第二小)の周り
にあった別荘地群

国道1号

世基の池の…

グラウンドは昔の世基池の
カタチのまんま
校歌にも「世基の池の…」
と残ってる

草津宿橋

橋の5m下には車が
ビュンビュン行きかう国道
ここも東海道の一部

新屋敷
・第二公民館



道標
●覚善寺

桜湯

これぞ銭湯
いい湯だな、ハハハん♪
昔ながらの「ザ・銭湯」であったまる
今の若者たちにも人気です

草津第二小学校

サンサン通り

小汐井神社

フリータイム

引きこもりがちな若者の居場所を提供
生活訓練や就労支援の相談もどうぞ

いろはもみじ

明治以降の激動を
見守ってきたというモミジ
今は2代目の樹なんだとか

長~い公園

旧草津川の跡地にできた長~い公園。全長800m
春は花見、秋には区民まつりでにぎわう、住民憩いの場
大路まち協でパトロールもしています

ファーマーズマーケット

月1ペースで滋賀の野菜・湖魚・コーヒー・
加工品がde愛ひろばに大集合
生産者さんとのやり取りがめっちゃ楽しい



草津川跡地公園
de愛ひろば
クサツココリバ





守山↑



きらら通り



ガーデニングサークル 「グラッシー」

ニワタスやde愛ひろばの緑を維持管理
四季を通じて美しい草花をご堪能あれ

にゃんこおたすけ隊

捨てられた猫や野良猫の
保護と里親活動を行う
高校生ボランティア



大江靈仙寺線



びわ湖通り

クリスマスブーツギャラリー

今や大路の冬の風物詩
コンテストはどれも力作ぞろいと評判!



●エイスクエア



最上階(25階)のチャペル

琵琶湖まで望めるよ



草津発祥! クリスマスブーツ

草津が発祥のクリスマスブーツ
年末にはでっかいモニュメントが登場。映える!

1989年にオープン
18階建ては当時の県内最高層
たくさん的人が、からくり時計の
人形を見上げたのも今は昔

県内に数ある平和堂の中でも1968年
オープンの第2号店!
当時はエスカレーターがめずらしく
子どもたちが社会科見学に来たとか

大路区更生保護女性会

旧中山道とサンサン通りの交差点にある花壇
四季折々の花に癒される

野村グラウンド

草津警察署

POLICE



草津コミュニティ・
支援センター



●墓地



どこにいるかな



大路区の
マスコットキャラクター
おおじくん

x 1



草津市コミュニティ事業団
マスコットキャラクター
まち活マッチ

x 3

(旧草津川)

↓大津

集い、楽しみ、ふれあう。

大路区民まつり



ち寄りたくなるようなイベントにすることが大命題。なんとも高いハードルです。

跡地が整備されたときには跡地公園（d e 愛ひろば）の700mもの長い空間を会場にするなど、今も地元愛と創意工夫で進

化を続けています。うれしいことに市外の方からも「今年はいつ開催されますか」と連絡をいただくのたどか。

では次々と店が閉まり、買い物かごを手に、立ち話している風景もいつしかなくなりました。暮らしの気配が消えた昼間は静かになり、むしろ夜の方が飲み屋さんの客でにぎやかなくらい。

マンションも次々と建って、今では引っ越してきた人の方が多いっていうのも自然の流れです。

マニションも次々と建つて、今では引っ越してきた人の方が多いっていうのも自然の流れです。

「住民同士の『コミュニケーション』が希薄になりつつあるのはビシビシと感じていましたし、一人でも多くの人に参加してもらいたい一心でした。もう必死でした」と伊勢村さん。

交流といえば、ここ大路では沢山のマンションが立ち並び、今や小学校に通う子どもたちの多くはマンション暮らしなのだとか。住民同士の交流といつても簡単ではなさそうです。

そこで大路の皆さんのが一堂に会するふれあいイベント「大路区民まつり」のお話です。

3人目の仕掛け人、伊勢村さんの登場です。

そこでも、区域のまつりはありました。ただ、小学校を前に登場し始め、平成に入るとショッピングセンターや百貨店もできたように、まちの表情は目まぐるしく変わりました。買い物客でにぎわっていた商店街

なるほど。人は増えても、つながりは薄れつつあるわけですね。

そこで大路区まちづくり協議会では伊勢村さんたちが中心となり、縁あつて同じ地域に暮らす住民同士が、集い・楽しみ・ふれあうイベントを創ろうということになりました。

区域内外に商店や大型店舗・ホテルなど多くの事業所・企業・活動団体があるのが大路の強みです。これらの団体にも協力を求め、模擬店などもグンと充実しました。なにせプロの味です。

立ち止まらない



▲エストピアホテル前のでっかいクリスマスブーツ(提供:立岡写真館)



人は増えても…

課せられた大命題

実はそれまでも、区域のまつりはありました。ただ、小学校を前に登場し始め、平成に入るとショッピングセンターや百貨店もできたように、まちの表情は目まぐるしく変わりました。買物客でにぎわっていた商店街

いかがでしたか。きつねおどりの復活・クリスマスブーツ・大路区民まつり……。どれも今の大路を象徴するのですが、その陰にはそこに暮らす人の「まちへの想い」がありました。伊勢村さんが最後に言ってくれました。「この大路に住む一人ひとりが誇れるまち、住んで良かったなあと思えるまちになって欲しいですね」

冒頭に紹介した写真集「大路今昔物語」の巻頭には「大路井の記憶絵」という絵があります(P.2)。昭和25~30年ごろの大路の様子を俯瞰的に捉えたものです。3人の仕掛け人をはじめ、当時を知る人たちの記憶を集め、福井さんが一枚の絵に描きました。お店も街並みもずいぶんと変わったことがわかります。

こうして新しいものを取り入れながら変えていくこと、辛抱強く守っていくことの調和が、このまち「大路」の魅力なのかもしれません。

オレンジのおばちゃん、今日も行く。大路区更生保護女性会

草津駅の東口、ビルに囲まれた一角に色とりどりの花が咲き誇るスポットがあります。ビルや道路の無機質な色の中で、緑が際映える「オアシス」。この草花を手入れし、道行く人の目を癒してくれるのは大路区更生保護女性会の皆さん。大路の子どもたちなら、どの子も彼女たちのことを知っています。そう、「オレンジのおばちゃん」たちのことを。

名前はカタくても…

「更生保護」なんて言うと、少し難しそうなイメージをもたれるかも知れませんね。更生保護とは一般的には罪を犯した人や非行に走ってしまった若者の立ち直りを社会の中で助けていくとする活動のことですが、全国組織である更生保護女性会では明確な定義はされていないのだとか。

つまり、それぞれの支部で誰もが楽しく、そして安全に暮らせるための活動をしています。大路の会でも、非行やいじめだけでなく、貧困や家庭内暴力、最近ではコロナなど暮らしの安全を脅かすようなケースの勉強会を地域の皆さんとしています。

こういうと、またまた難しそうな活動に

普段はもつと身近な地域活動をされてい

ます。その一つが先ほどの緑の手入れ「みちサボート」です。

草津の玄関だから

旧中山道とサンサン通りの交差点。ここはかつて手入れされていた方が亡くなつて以降は放置されていた場所。草はボーボー、空き缶やゴミも捨てられ放題だったとか。

「駅前のこの場所って、いわば草津の玄関。私たちの手できれいにしよう」と当時の会長の声かけから平成26年に始まりました。

オレンジのおばちゃん

かけてくれたり、マンションの上階に住む人から「庭がないから、自分の家の庭のように上から見えます」と言われたことも。下校中の子どもたちからは「オレンジのおばちゃん、ここにチューリップ植えて」とリクエストがあることも。どこかで活動を見てくれている人がいるのは、やりがいにつながるし、花を仲立ち知らない人との会話が生まれるのも嬉しいものです。

善意には善意が集まります。『それなら』と地元の方がトラックで土を入れてくれ、花壇を作りました。メンバー各々が自育てた苗を持ち寄り、季節の花を咲かせる活動を始めました。

子どもたちからも話しかけられるつてすごいですね。

なん、オレンジのおばちゃん? そうなんです、彼女たちは「オレンジのおばちゃん」として、大路の子どもたちに知られています。なぜ? それは彼女たちが長年続けている子どもの見守り活動「おかえりなさいサポート女性」によるもの。

もじうめスツキリ

大路らしいものを集めてみたよ。

□に入る5つの文字を答えてね。本文にヒントがあるよ。

問

- (1) 中にはお菓子と夢がたくさん詰まっています
クリスマス□ーツ
- (2) 秋には境内できつねおどりが奉納されます
おしお□じんじゃ
- (3) 覚善寺前にある昔の道案内
ど□ひょう
- (4) たぬき?ねこ?さる?いえいえ、100年ぶりに復活
きつ□おどり
- (5) 草津第二小学校があった場所、昔は…
よもとい□

応募方法

ハガキに①答えの5文字②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。
FAX、メールでのご応募もお待ちしています。
もちろん、大路以外の方もOK!

〆切 12月17日(金)必着

宛先 〒525-0032

草津市大路二丁目1番35号(キラリ工草津)
(公財)草津市コミュニティ事業団
「コミュニティくさつ12月号」係
✉ com-com@mx.biwa.ne.jp
☎ 565-0411

プレゼント

応募いただいた中から抽選で、草津川跡地公園内クサツココリバの3店舗で利用できる優待券(1,000円相当)を5名様にプレゼント。



えつ、渋滞!?



誰も経験していない活動だけに、事前に警察とも相談、アドバイスももらひつて背中を押してもらいました。

活動は毎週金曜の下校時。ママーべーを3ルートに分け、1年生の集団下校に付き添います。オレ

ハハのジャパンバーと帽子がトニー・スマーチの彼女たちはひつしか子じむだから「オレハハのねばちゃん」と呼ばれるひつになつたのです。ななせじゅナシマークです。

「週末におじごわやん家に行くなだよ」「楽しみだねえ」。道すがらの子じむかわひとの会話は楽しい限りですが、レヤシとする体験もありました。

風で帽子を飛ばされた子が追いかけて車道に飛び出でたところに車が…。間一髪で子じむを引き留め、難しそ逃れましたが、子じむたちの様子を止時も見逃してはいけないと、今でも戒めど

「私たちメハベーは自分の自転車にもプレーテムをつけて町中を走り回つてるんですよ。新1年生には私たちが下校に付き添つていることを説明するカードをポケットトイシングに添えて渡し、保護者にも活動を知つてもひつぱりしておます」

ハハのジャパンバーと帽子がトニー・スマーチの彼女たちはひつしか

子じむ自身だけでなく、周りの大人の目や意識も必要です。安全のための標語をプレーテムにしてお詫びも彼女たちの手によるもの。プレーテムせの〇〇枚。一枚一枚が手作つです。

子じむたちの安全を守るには

子じむを中心とした全国で不安が募りあした。

「子じむたちが無事に家まで帰れるよつ、見守つをしよう」。またまた当時の余長の発案により活動を始めました。今でいうスクールガードの先駆けです。

安全はみんなの事で

現在、会では新しい仲間を募集中。「更生保護」というカタめの名前で難しく思われそうですが、願いはこのまちの人たちが、このまちで楽しく安全に暮らし続けるという当たり前の暮らし。まちでオレンジのジャンバーを見かけたら、気軽に声をかけてください。あなたも「オレンジのおばちゃん、おねえさん」になりませんか。

ぶい入

大路まちセンを利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

大路のここが好き



「コミュニティくさつ」の経費（企画編集、印刷、折込など）は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理（指定管理）などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかなっています。